

R5年度KBDP コミュニティエントリー状況 (0616時点)

番号	提案団体名	種別	TYPE別	募集テーマ区分	WG組成理由	取組概要	スケジュール
1-1	京都府デジタル政策推進課	コミュニティ	A.特定テーマに関する事例研究	8.行政サービス		府では、「京都府スマート社会推進計画」等において、「オープンデータの推進」を重点的に取組む施策の一つとし、市町村との連携を図ることにより、オール京都でデータの更なるオープンデータ化と利活用を推進することとしている。 本コミュニティでは、府・市町村のオープンデータ担当者を中心に、ワークショップの開催、また、自治体標準データセットのうち「AED設置箇所一覧」「公共施設一覧」「公営駐車場一覧」をオープンデータ化し、統合型地理情報システム (GIS) とオープンデータカタログサイトで公開する。 ワークショップでは、オープンデータに関する知識の向上を目指した研修、また、「公共施設」「公営駐車場」の定義について合意を取り、「R6年度取組内容」の議論を行い、「R6年度取組計画」を作成する。	・ワークショップ ：7月・8月・10月 ・2024年度取組計画作成：11月～12月 ・自治体標準データセットオープンデータ化取組：7月～3月
1-2	京都府デジタル政策推進課	コミュニティ	A.特定テーマに関する事例研究	11.その他 (新技術活用)		メタバース・Web3に係る技術の活用事例や法律の課題についての情報共有と交流の中で実運用について考察します。 コミュニティの活動例としては以下のようなことを行う予定です。 ・有識者を招いて基調講演や勉強会 ・参加者で課題、相談事について議論、解決への取組 ・プラットフォーム内の他WG活動との連携 ・補助金事業への提案 ・Discordを活用したDAOの試行	・1～2ヶ月に1度ペースでの課題ワークショップ・講演会 ・コミュニティ内個々の活動・相談事は随時 (Discord)
1-3	株式会社村田製作所	コミュニティ	A.特定テーマに関する事例研究	1.観光 3.教育 11.その他 (スマートシティ)		SDGsの1つの施策である Society5.0 ではフィジカル(現実)空間とサイバー(仮想)空間の有機的な結びつきによる豊かな社会の実現が提唱されている。 一方、錦市場では COVIDCOVID-19の5種分類に伴う規制緩和により来訪者が増大しており、慢性的な混雑が継続しており数値的な密集度は危険水位になるケースがある。 また教育現場において"GIGAによるIoT教育は加速化しているが"実際の問題/課題"をテーマにしたものは少ない。 本活動は実際発生している問題の解決をする為、弊社センサプラットフォームPifaaで取得したデータをベースに解決策を研究する取り組み	4月：立命館様との Kick Off, 5月：3社面会 6月：企画立案及び計画策定 7月：取り組みスタート 11月:成果報告

R5年度KBDP 実証・事業化WGエントリー状況 (0601時点)

番号	提案団体名	種別	TYPE別	募集テーマ区分	WG組成理由	取組概要	スケジュール
2-1	ソフトバンク株式会社	実証・事業化WG	TYPE 3 (民→民)	11.その他 (ビッグデータ)	昨今、データ駆動型社会の実現が求められている中、産学官が持つビッグデータの流通を加速させ、データに基づく社会課題の解決や新規ビジネス創出を図る方策を検討する必要があるため。	令和4年度の取り組みでは、京都ビッグデータ活用プラットフォーム会員やその他企業等から収集したサンプルデータから、他のデータとの掛け合わせによる新たなビジネスモデル構築の可能性やデータ活用の展開の可能性等を精査し、データ活用型ビジネスモデルのイメージを事例化した。今年度はこの引き続き事業として、データ活用型ビジネスモデルのスケールアウトを目的に、京都ビッグデータ活用プラットフォーム会員やその他企業等に対しデータの収集を実施し、産学官の垣根を越えた相互のデータ連携による価値創出の可能性の検証及びデータ流通の加速化を目指す。 <データ提供および流通を積極的に進めたい企業を募集する>	7月WG開始・データ取引市場への誘致 9月ビジネス検討実施 3月WG活動報告
2-2	株式会社Local24	実証・事業化WG	TYPE 2 (民→官)	1.観光 7.教育 11.その他	安全でかつ高速、接続が簡単な新世代の公衆無線LAN、OpenRoamingを普及させたい。その手段として、現在当社が参加している、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) Beyond 5G研究開発促進事業「Beyond 5G国際共同研究型プログラム」の研究成果を活用する。 新世代の公衆無線LANに興味のある京都府下の市区町村や教育機関、公共交通機関、観光関係施設等と連携し、社会実装に向けての啓発や普及支援を行えるようにする。	公衆無線LANは危険だと言われているが、2020年に世界で導入が始まったOpenRoamingにより、安全でかつ高速、接続が簡単な公衆無線LANがようやく提供できるようになった。また、訪日外国人の方にも安全な公衆無線LANを提供できるものである。 我が国におけるOpenRoaming普及に向けて先陣を切る事ができる今のタイミングにおいて、技術的な啓発を進めるとともに下記について取り組みたい。 ・安全でかつ接続が簡単な公衆無線LANについて技術基準を策定し認定できるようにしたい。 ・通信事業者主導ではない市民参加型のビジネスモデルで京都府下で普及を推進したい。 ・高等教育機関及びギガスクールへのOpenRoaming導入支援を行いたい。	6月WG開始 9月実証実験計画策定 11月実証実験 2月検証・サービスプラン提案
			TYPE 3 (民→民)		安全でかつ高速、接続が簡単な新世代の公衆無線LAN、OpenRoamingを普及させたい。その手段として、現在当社が参加している、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) Beyond5G研究開発促進事業「Beyond 5G国際共同研究型プログラム」の研究成果を活用する。 新世代の公衆無線LANに興味のある京都府下の市区町村や教育機関、公共交通機関、観光関係施設等が連携しての、社会実装に向けての関係事業者の調整が行えるようにする。	公衆無線LANは危険だと言われているが、2020年に世界で導入が始まったOpenRoamingにより、安全でかつ高速、接続が簡単な公衆無線LANがようやく提供できるようになった。また、訪日外国人の方にも安全な公衆無線LANを提供できるものである。 我が国におけるOpenRoaming普及に向けて先陣を切る事ができる今のタイミングにおいて、技術的な啓発を進めるとともに関係事業者が結集して下記について取り組みたい。 ・安全でかつ接続が簡単な公衆無線LANについて技術基準を策定し認定できるようにしたい。 ・通信事業者主導ではない市民参加型のビジネスモデルで京都府下で普及を推進したい。 ・高等教育機関及びギガスクールへのOpenRoaming導入支援を行いたい。	
2-3	日本生物高分子学会	実証・事業化WG	TYPE 3 (民→民)	10.感染症対策	①前年度にSCP/SWS京都WGが作成した仕様書に基づく次世代感染症対策ASKシステムの完成と各種業態・業務に対応した個別アプリケーションの指標作成とデータ利用に関する共同研究 ②分散型PCR装置の開発および検査試薬等のデータ運用に関する標準化の共同研究 ③環境中ウィルスのモニタリングとデータ利用に関する共同研究 共同推進と実証実験にあたり上記3点の役割を分担できるコアの組織構成が重要	○スマート化： 各種入力場面でのキーボード入力等の排除およびm2mによるスピード化、効率化を図る ○組織連携と地域連携： 個人に委ねられている行動判断基準を、組織（企業、各種団体、コミュニティ）や地域（行政の最小単位）に移管することによって得られる個人の行動変容を促す ○プラットフォームの構築（検査情報DBのネットワーク化）： 感染対策の精度を高める情報共有を目指す	1stステージ：ローカル環境の整備とそれぞれのシミュレーションおよび実証実験 2ndステージ：組織連携、地域連携 3rdステージ：データ利用の拡張と高度利用
2-4	京都府デジタル政策推進課	実証・事業化WG	TYPE 1 (官→民)	10.感染症対策	参加者が各々保有する知見・情報等を活用し、情報交換等による相互協力のもと、社会課題であるCOVID-19等の新たな感染症対策に資する研究開発・予測モデルの可能性検証等に係る取組を通じて、会員各々の知見向上や新事業創出、課題解決を目指す。（R4に引き続き組成）	R4内閣官房実証事業において、下水サーベイランスの実施および予測モデルの構築を行った経験から、今後起こりうるDisease Xを見据え、実際にこれらのデータを行政の感染症対策における政策判断や府民への行動変容の呼びかけに活用するためには、下水データの特性と限界に関する理解の醸成が不可欠であり、行政職員や府民等、誰にとっても分かりやすい下水サーベイランスについての説明資料（「取扱説明書」）が必須であるとの課題認識を持っている。また、行政の感染症対策に沿うよう、どの感染フェーズでどういった技術が役立つかといった俯瞰的整理も必要である。そのほか、5類移行後の新型コロナウイルスやその他感染症について、流行予測が可能かどうかについて検討する。  (具体活動) 1 京都府域における下水サーベイランス「取扱説明書」の作成 2 国や府のインフルエンザ等対策行動計画の改定に向けた準備 3 パイロットモデルとなる予測活動  【(株)Adinte、(株)AdvanSentinel、(株)アナテック・ヤナコ、(株)COGNANO、塩野義製薬(株)、(株)島津製作所、 (株)島津テクノロジー、京都大学附属流域圏総合環境質研究センター、高知大学、北海道大学、京都市】	5月：WG開始 6～10月：取説作成のための勉強会 6～3月：インフルエンザ等行動対策計画改定に向けた準備等、予測活動
2-5	西日本旅客鉄道株式会社	実証・事業化WG	TYPE 2 (民→官)	1.観光 4.交通/物流 9.防災 11.その他 (AI活用)	昨今のAI等先端技術やIoT等デジタル技術をどう活用しているか分からない広域自治体様の課題解決サポートを目的に、民間企業の保有する各種シーズ群を集め、それらを自治体様がトライアルとしてクイックかつライトに活用し課題解決可能性を探索するという営みを立ち上げ、民間企業と自治体の連携可能性を探りたい。	複数区分でのトライアルにより課題に対するライトな解決策を検討したい。例えば、 （防災DX） 津波や震災など、災害発生時の避難所運営の効率化や救援物資の最適な配置等を目指す。監視カメラとAI技術を連携させた自動人数カウントや特定行動の自動検知、またビーコン技術を使った、避難所の属人特性把握との連携による有効性を示す （観光DX） 地域観光における地域イベントや商店街の活性化を目的とした、監視カメラAI活用による店舗前人流自動調査やビーコンを活用した、ヒト・モノの移動の自動実態調査を行い、次なる地域振興施策に繋げる	6月WG開始 9月実証実験計画策定 11月実証実験 2月検証・サービスプラン提案
2-6	株式会社アドインテ / 京都府文化学術研究都市推進課	実証・事業化WG	TYPE 3 (官民→民)	1.観光 8.行政サービス 11.その他 (スマートシティ)	令和4年度デジタル田園都市国家構想はいはんなサステイナブルスマートシティにおいて、精華町に配置されたサイネージ型IoT販売機『AIICO』等のデジタルゲートウェイについてそのポテンシャルを活かした活用を参画者とともに企画・事業化を行いたい。	以下について、企画の段階から参画していただけるメンバーを募集 1. サイネージ描画機能を活用した、集客（人が集まる地点）に資するコンテンツ 2. IoT機能を活用した、データ収集・分析に係る仕組み 3. 物品販売機能を活用したコンテンツ 4. 行政・企業とのコラボレーション 5. その他、スマートシティ事業と連携 ※既に『AIICO (アイコ)』は、『株式会社CHARIS&Co』の化粧品サンプルを『新宿ミロード』にて配布する実証実験中 <a href="https://ptimes.jp/main/html/rd/p/000000090.000007452.html">https://ptimes.jp/main/html/rd/p/000000090.000007452.html</a>	7月WG開始 10月実証実験計画策定 12月実証実験 2月検証・サービスプラン提案